

地域で育てる福賀っ子

～地域の諸団体との連携を通して～

【阿武町 福賀中学校区】

地域の概要

阿武町は、奈古、福賀、宇田郷の三つの地区から構成されています。奈古、宇田郷の両地区が、日本海に面した漁業中心の地域であるのに対して、福賀地域は農業地域です。子ども会育成連絡協議会や地域ぐるみ生徒指導推進協議会など地域で子どもを育てようとする意識が高い地区です。

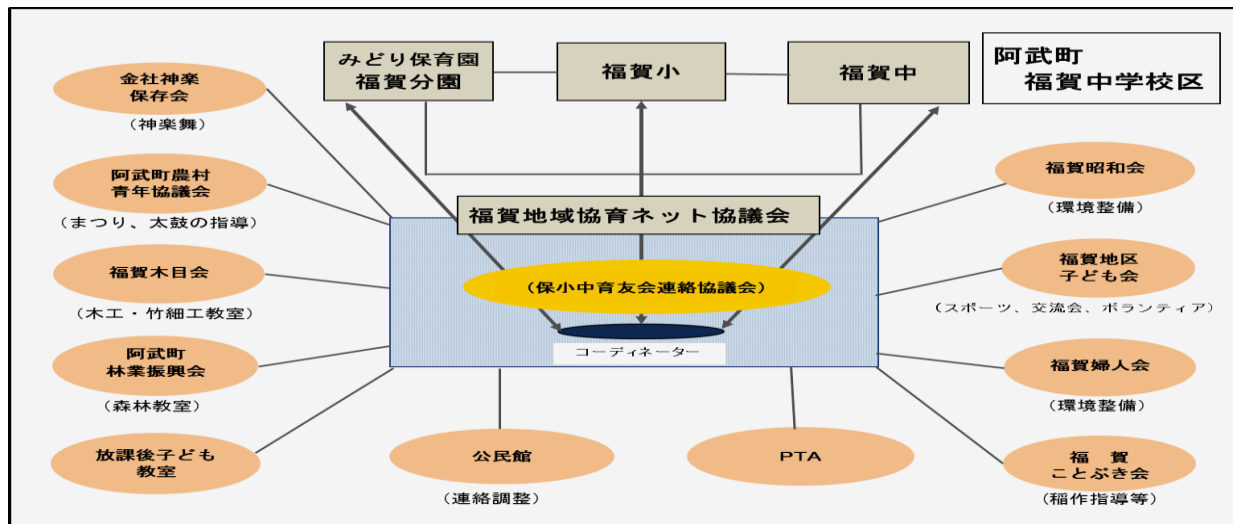
人口	674人	
世帯数	302世帯	
対象校・園 及び園児・ 児童生徒数	福賀中学校	11人
	福賀小学校	11人
	みどり保育園分園	5人

保護者や地域住民の教育への意識や期待は高く、地域振興、相互扶助、ボランティア、生涯学習の深化を目的とした様々な団体が設立され、相互に密接に連携し合って活動しています。

組織の内容

本中学校区の地域協育ネットの中核を担うのは、「保小中育友会連絡協議会」です。この連絡協議会は、みどり保育園福賀分園、福賀小学校、福賀中学校のPTAの役員、福賀地区子ども会育成連絡協議会会長、福賀公民館長によって構成されています。この協議会では、地域の子どもたちに関する課題などを保・小・中が連携した取組を通して、解決しています。コーディネーターは福賀公民館長が兼ねています。

みどり保育園福賀分園、福賀小学校、福賀中学校では、これら諸団体と日頃から連絡を密にし、総合的な学習の時間の講師、登下校の見守り活動、環境整備作業の支援、放課後における個別の学習指導などの支援を受けています。



特色・重点的な取組

- 【福賀小学校】・校区内の達人による学習支援
- 【福賀中学校】・地域団体の支援
- 【共通】・地域をあげての校内環境整備作業
- ・日本ジャンボリー地域プログラムでの演奏や演技の披露



日本ジャンボリー地域プログラム

主な活動の紹介

○校区内の達人をゲストティーチャーとして招へい（福賀小学校）

校区内には、昔遊び、竹細工、箏、太鼓など多くの分野での達人がおられます。そのような方々に授業のお手伝いをしていただくことで、子どもたちの活動の幅が広がり、理解も更に深まっていくものと考えています。今年度は、竹細工（1・2年生活）と太鼓・箏（5・6年音楽）の学習支援として、ご協力をいただきました。



太鼓の指導

○森林体験学習（福賀中学校）

11月には、阿武町林業振興会のみなさんと一緒に、杉の枝打ちを中心とする森林体験学習を実施しました。中には、ノコギリを上手に扱い、枝打ちをする生徒が見られ、学校では見られない生徒の姿を発見することができました。また、森林が果たす役割はもちろん、切った木の年輪を調べることでその年の気候の様子まで知ることができることは、生徒にとって驚きだったようです。このような貴重な体験は、林業振興会の皆様の支援があるからこそだと考えています。



森林体験学習

○地域を挙げての校内環境整備作業（福賀小・中学校）

どこの学校でも、夏休みの後半に学校内の環境整備作業が行われます。福賀小・中学校でも同様に行いますが、保護者だけでなく、地域協育ネットのボランティア団体や関係機関の協力が得られます。まさに、地域を挙げて小・中学校の環境整備をしてくださるのです。他の地域ではなかなか見られない、この福賀地域の良さであると捉えています。学校は、その期待に応えていかなくてはならないと考えているところです。



校内環境整備作業

○日本ジャンボリー地域プログラムでの演技披露

日本文化を伝えるために日本ジャンボリー地域プログラムの開会式では、福賀小学校が「太鼓」、福賀中学校が「神楽舞」を披露しました。子どもたちは緊張していましたが、自分たちの演奏や演技を見ていただき満足そうでした。その後の体験交流では、外国から来たボーイスカウトがとてもうれしそうに太鼓を叩いたり、神楽の道具に触れたりして、日本の文化を感じてくれたようでした。



日本ジャンボリー地域プログラム

成果と課題

福賀地域は少子高齢化が進む過疎地ですが、「地域の子どもは地域で育てる」という意識が高く、おかげで学校は様々な教育活動を展開し、学校教育を活性化することができました。また、学校祭などの公開行事を通して、学校教育活動の理解とともに教員と地域のみなさんとの距離が縮まり、地域との信頼関係をより一層深めることにつながっています。

今後、地域協育ネットの取組を継続していくためにも、学校は可能な限り地域の行事に参加し、「Win-Win」の関係を構築していきたいと考えています。

今後の取組

育友会OBとの更なるつながりを深め、学校への支援を強めていきます。これまでの活動に満足することなく、学校からも積極的に多岐にわたり要請・要望をすることで、地域の活性化を図りたいと思います。